

第20回マーチングバンド・バトントワーリング岡山県大会 審査規定

～バトン・カラーガードの部～

1. 審査内容

(1) 作品完成度

①実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ドロップやミスのない到達度の高い完成された作品 ・個々の責任意識が高く、グループプレーや協調性の高い演技 ・グループとしての同調性 ・正確なポジションワークと困難度あるステージングの展開 ・リズムやタイミングの統一性、多様性
②表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現 ・フロア、立体、空間によるステージングデザイン ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス ・観客への作品アピールやショーマンシップ ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力

(2) 全体効果

①作品効果	<ul style="list-style-type: none"> ・明確なテーマとプログラムコンセプト ・集団美が活かされた作品 ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成 ・視覚と聴覚の一体性 ・衣装やプロップの色彩、デザインと作品との調和
②演技効果	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の理解、解釈 ・音楽の理解、解釈 ・バトンとボディーワークによるデザイン ・フロア、立体、空間によるデザイン ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク ・ミュージカルティー、観客への作品アピールやコミュニケーション

(3) パフォーマンス

①バトントワーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・バトンテクニックの正確さ、優秀さ ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性 ・トワーリングの多様性、困難度 ・エフェクティブなバトンの使い方 ・集団演技の複雑性 ・トワーリングリズムと音楽リズムの調和 ・バトンとボディーワークやステージングの困難度ある組み合わせ
②ボディーワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーワークの正確さ、優秀さ ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性 ・ボディーワークの多様性、困難度 ・エフェクティブな動きやアングル ・集団演技の複雑性 ・ダンスリズムと音楽リズムの調和 ・ボディーワークとバトンやステージングの困難度ある組み合わせ
③ステージング	<ul style="list-style-type: none"> ・ムーブメントの正確さ ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性 ・スムーズで困難度あるフォーメーションの展開 ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク ・フロアと立体、空間のステージングデザイン ・フロアデザインと音楽の調和 ・ステージングとバトンやボディーワークの困難度ある組み合わせ

<審査担当者と観点、持ち点>

調整中 作品完成度 10点 全体の効果 10点 パフォーマンス 15点
 調整中 全体の効果 10点

2. コンテストの部の審査

(1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。

(2) 各内容の5つの観点についてA～Eの5段階評価をし、

Aが5点・Bが4点・Cが3点・Dが2点・Eが1点に換算し、その合計点を集計する。その後45点満点を100点満点に換算(20/9倍して、小数点以下四捨五入の整数値)

(3) 100点満点中、80点以上を金賞、79点～60点を銀賞、59点以下を銅賞とする。

3. フェスティバルの部の審査

(1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。

(2) 審査方法は、コンテストの部に準ずる。(評価あり、点数なし)

(3) すべての団体に優秀賞を授与します。

※バトンのすべての部門でICレコーダ審査を行う。

4. カラーガード部門の講評内容

(1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。

(2) 以下の観点①～③について、各審査員が50点×2観定の100点の持ち点で採点し、その合計点を集計し、複数団体エントリーがあった場合にフェスティバル賞授与の参考とする。

① 全体的効果とアンサンブル(全体的効果50点、アンサンブル50点) . . . (調整中)

② ボディーワーク(表現形式50点、理解度と達成度50点) . . . (調整中)

③ カラーガードの技術(表現形式50点、理解度と達成度50点) . . . (調整中)

(3) すべての団体に優秀賞を授与する。

※すべての部門でICレコーダ審査を行う。

5. カラーガード部門審査内容

(1) 全体とアンサンブル

①全体的効果 …作品の効果と解釈・表現	・視覚と音楽の調和 ・独創性と多様性 ・表現の幅と質 ・ショーマンシップ ・コーディネーション ・完成度
②アンサンブル …構成・演技の質と技術	・統一性 ・表現慮 ・多様性 ・視覚的音楽性(フレージング, 解釈, 強調) ・同一性 ・全体的技術 ・鮮明度 ・リカバリー ・アーティキュレーション

(2) ボディーワーク

①表現形式	・バラエティー ・ダイナミックス ・コンビネーション ・適正
②理解度と達成度	・トレーニング ・コントロール ・ポジション ・融合 ・リカバリー ・タイミング

(3) カラーガードの技術

①表現形式 …手具の動作	・バラエティー ・ダイナミックス ・コンビネーション ・適正
②理解度と達成度 …手具の操作	・トレーニング ・コントロール ・融合 ・リカバリー ・タイミング

第20回マーチングバンド・バトントワーリング岡山県大会 審査規定

～マーチングバンドの部～

1. マーチングバンド部門審査担当者と審査内容

- (1) ショー全体の効果 (篠原修)
 - ・音楽効果
 - ・視覚効果
- (2) 打楽器の技術 (小島浩毅)
 - ・打楽器の技術
 - ・全体的効果
- (3) カラーガードの技術 (樋口重紀)
 - ・カラーガードの技術 (カラーガードがない場合は演技・動きの技術を審査)
 - ・全体的効果

*全体的効果(調整中)

管楽器の技術, 打楽器の技術, カラーガード, 演技・動きの技術それぞれの観点から作品全体の効果についての審査。

*審査委員長 山崎浩

2. コンテストの部の審査の基本的方針 (IC レコーダ審査)

- (1) タイムオーバー等による失格や減点はない。
- (2) ショー全体の効果, 打楽器の技術, カラーガード (演技・動き) の技術の内容でそれぞれ1名, 計3名で審査する。
- (3) 各審査内容の2つの観点についてA～Eの5段階評価をする。
- (4) 金賞, 銀賞, 銅賞については全ての演技終了後, 審査委員会にて決定する。
- (5) ICレコーダ審査におけるコメントについては, 県大会レベルで各団体の優劣を競うことを目的とせず, 中国大会, 全国大会に向けたアドバイスをすることを主の目的とする。

3. フェスティバルの部の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はない。
- (2) 審査方法は, コンテストの部に準ずる。
- (3) すべての団体に優秀賞を授与する。